

## あいさつについて

浦安市立浦安中学校 1年 花宮 有紀

私の通っている学校では『先行あいさつ』自分からすすんであいさつをしようと呼びかけが行われている。あいさつが大切だからなのだろう。

しかし、なぜあいさつが大切なのだろうか。

まず、あいさつとは何なのかを調べてみると、あいさつとは、人と会ったときなどに取りかわす儀礼的な動作だという。

たとえば、あいさつには、「おはようございます」や、「さようなら」がある。これらは、人と親しむためや礼儀的なものだろう。その他には、「いただきます」や、「ごちそうさまでした」などもある。これらもあいさつの一部だ。これらは、食への感謝の気持ちを伝えるためだろう。

そこで、あいさつは、普段から誰にでもできるというメリットがあるようだ。

あいさつが大切な理由を私はこう考える。あいさつも一つのコミュニケーションであり、あいさつをすることによって、自分と相手との心のきよりが縮まるからだと考える。あいさつは、自分と相手の関係を近づけてくれる『魔法の言葉』だと思う。

私は、マンションに住んでいて、このような体験をしたことがある。

私は、朝、住人の方に会ったら、必ずあいさつをするようにしている。私が、

「おはようございます。」

というと、相手の方も、

「おはようございます。」

と言ってくれたり、私よりも先にあいさつをしてくれる方もいるのだ。

そして、住人の方とあいさつをすると、自分も相手の方も明るく笑顔になっているのだ。マンションでのあいさつ以外でも学校であいさつをするときや、友達とあいさつをするときもそうなのだ。

あいさつは、自分と相手の関係をよくしてくれるだけでなく、自分も相手もよい気持ちになり、笑顔にさせてくれるのだ。

私の通う学校では、このような取り組みが行われている。

それは、朝に生徒の保護者の方が道に立って、生徒にあいさつをしたり、交通安全の見守りをしてきているのだ。私は、その活動について、町の人との関わりができ、あいさつをする機会も増えとてもよいと感じている。

そして、私のお母さんもその活動を行っている一人だ。

私は、そこでお母さんに質問してみた。

「お母さんが児童にあいさつをしたら、みんなしっかりとあいさつを返してくれる？」

と聞くと、お母さんは、

「しっかり全員あいさつをしてくれるよ。」

と言っていた。正直、私は少しびっくりした。

なぜなら、半数以上があいさつをして、数人はしない人もいるのかなと言われると思っていたからだ。みんながあいさつをしてきていると聞き、とってもうれしくなった。

このような活動は、たくさんの地域でやっているそうだ。

この活動による効果は、子供の交通安全やあいさつ習慣の定着や、地域住民をつなぐ世代間交流が期待できるとのことだそうだ。この活動を続けて、地域の人との仲が深まれば良いなと感じた。

そして、私はあいさつによって犯罪が減るのではと感じた。

なぜなら、地域の人とあいさつをして、そうすれば、仲が深まっていき、地域全体が明るくなっていくと考えるからだ。それを全員で行うことにより、社会が明るくなると感じた。

ふり返ると、あいさつには、たくさんのメリットがあることがわ

かった。

人との仲が深まるや、笑顔になる機会が増える、犯罪を減らせていくことができるなどがあった。

あいさつは、誰にでもできるし、いつからでも始められる。

そこで、これからもあいさつを大切にしていきたい。たくさんの人と、あいさつでコミュニケーションをとり、笑顔になる機会が増えたらよいなと考える。あいさつを全員で行なって、これからの社会を明るくしていきたいと思う。